

名古屋

尾張 | 知多



デジタル版
ニュースはこちら

名古屋本社報道センター
〒460-8488

名古屋市中区栄1-3-3

TEL 052・231・8131

FAX 052・231・0391

n-shakai@asahi.com

県内取材網

一宮支局 / 半田支局 /

豊橋支局 / 岡崎支局 /

豊田支局

購読・配達のご用は

0120・33・0843(7~21時)

紙面へのご質問・ご意見は

0570・05・7616

休日のみ

途中で工事が止まり、
フェンスに囲われてい
る相生山緑地内の道路
予定地。2024年11
月、名古屋市長が区



河村たかし前名古屋市長の決断で2010年か

弥富相生山線整備 工事再開する方針 名古屋市長 環境にも配慮

ら工事が止まっている「弥富相生山線」(天白区)の道路整備について、広沢一郎市長は21日、事業を再開する方針を明らかにした。相生山緑地内も一般車両が通行できるようにし、環境に配慮した橋梁構造を採用するとしている。

市議会本会議の答弁で明らかにした。

弥富相生山線は、相生山緑地を東西に横切る全長約3830mの都市計画道路。1957年に計画決定され、2004年

3月に着工された。しかし、緑地内の予定地がヒメボタルの生息地であることなどから、10年に河村氏が工事の中断を指示。14年に事業廃止を表明した。緑地内の892坪のうち約2割が未着手となっている。

一方、地元住民からは、周辺道路の渋滞解消や防災対策などため道路の完成を求める声もあり、市は河村氏の「緊急車両の通行に限る」との指示を前提に、環境保全との折衷案を検討していた。

この日の答弁で、広沢市長は「地域の課題となっている入り込み交通が減少することが期待できる。近隣住民の日常生活の移動に利用でき、暮らしの利便性が向上することはない」と述べ、

一般車両も通行できるようにすると表明した。

また、未着手区間の整備方法については、複数ある折衷案の中から最も環境への影響が小さいとされる「橋梁構造」を選挙するとした。完成時期は「できるだけ早期に実現できるよう努力する」と述べ、ヒメボタルの繁殖期に配慮した通行制限

や照明機器の工夫も検討するとした。

議会後、広沢市長は報道陣の取材に対し「通してほしいという地元の声が多く、環境破壊についての意見もあり、どちらにも配慮した案になった。良い折衷案ができたことに安堵している」と語った。

(吉村美耶)